

第1問 次の問い(問1～4)に答えなさい。

問1 傍線部のカナの漢字はどれですか。次の①～⑤のうちから、それぞれ一つ選びなさい。

解答番号は 1 ＼ 3

・街の変化をマの当たりにした ① 間 ② 真 ③ 負 ④ 麻 ⑤ 目

1

・お話のオモムキは承知しました ① 越 ② 起 ③ 趣 ④ 超 ⑤ 赴

2

・政府のヨウシヨクに就いた ① 養 ② 洋 ③ 容 ④ 要 ⑤ 用

3

問2 傍線部と同じ漢字を用いるのはどれですか。次の①～⑤のうちから、それぞれ一つ選びなさい。

解答番号は 4 ＼ 6

・転んだヒヨウシに足をくじいた ① メダリストをハクシュで迎えた

4

② 相手のイヒヨウを突く作戦が成功した

③ 思想上の理由でヘイエキを拒否した

④ ヒムロは食品の保存にも用いられていた

⑤ 遠方のヒヨウテキを見事に射貫いた

・ケンブンを広めに旅にでた ① 委員長の責任をトわなければならない

5

② 規則の制定に際してチヨウモン会が開かれた

③ 事件の捜査の過程でシモンが採取された

④ 健康のために腹ハチブを心がけましょう

⑤ 図書館で論文の参考となるブンケンを探した

・彼女はキチに富む会話を好む ① 最高裁判所の判決をケイキに制度が改善された

6

② 前代未聞の不祥事が相継いでケイキした

③ 諸種の量を計る道具は総称してケイキと呼ばれる

④ 彼はケイキを終える前に刑務所を仮釈放された

⑤ ケイキが上向いたことで人々に笑顔が戻った

問3

次の①～⑨の各文において、敬語が正しく用いられているのはどれですか。

三つ選びなさい。ただし、解答の順序は問いません。解答番号は

7

9

- ① このトイレは誰でも自由にご利用できるようになっております
- ② お土産に美味しいお菓子をいただきました。ありがとうございます
- ③ 来月の送別会は日曜日に予定されていますが、Aさんは参られますか
- ④ 私の一存では決めかねますので、確認のうえ、十日までにご連絡いたします
- ⑤ 先生、そのことでしたら、私も存じ上げておりますので心配は無用です
- ⑥ 私がこの売り場を担当しておりますので、ご用の際は何なりとお申し付けください
- ⑦ 佐藤様からお電話を頂戴するかもしれないと担当者の鈴木から承っております
- ⑧ 食後の飲み物はコーヒーと紅茶を準備してございますが、どちらにいたしますか
- ⑨ 先日ご注文いただいたのは、紺色のスーツ一式でよろしかったでしょうか

問4

次の文中の空欄（ ）に入れるのに最も適当な四字熟語はどれですか。

選択肢①～⑨のうちからそれぞれ一つ選びなさい。解答番号は

10

12

・ 自社の都合のみを優先しては（ ）と言われかねないので、他社の都合にも十分な配慮が必要だ

10

・ アルバイトは社会勉強になると言えるが、学業を疎かにしてしまつては（ ）も甚だしい

11

・ 威勢のいいことばかりを（ ）せず、制度改革の手續きについて具体的に言語化しませんか

12

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 選択肢… | ① 異口同音 | ② 温故知新 | ③ 我田引水 |
| ④ 厚顔無恥 | ⑤ 首尾一貫 | ⑥ 戦々恐々 | |
| ⑦ 大言壮語 | ⑧ 本末転倒 | ⑨ 朝令暮改 | |

第2問 次の文章を読んで、後の問い（問1～9）に答えなさい。

「社会の目」というときの目は、そういう個人のもつ目とはなにかしらちがっている。社会の目といういいかたがなりたつのは、わたしたちが社会から見られているという意識をもつからだが、社会から見られていると感じるときの目は、特定の個人がわたしを見るときの目とはちがう。特定の **A** を超えた、その向こうにある、不特定多数の人の目、それが社会の目だ。不特定多数の人がいま実際に自分のまわりにいなくともよい。まわりにだれもいなくても、自分が見られている、見られるだろうな、見られるかもしれない、と考えるとき、社会の目はそこにあり、わたしはそれを意識しているということが出来る。

日曜日に、都心の盛り場で遊ぼうと、好みの服を選び、身だしなみを整え、これでよしとちょっと気合いをいれて自宅の玄関の戸を開けて外に出る。そのとき、わたしたちを見つめる社会の目はもうそこにあり、わたしたちはそれを意識せざるをえない。いや、服を選び、身だしなみを整えているとき、わたしたちはすでに社会の目を意識している。意識するからこそ服の選択に力が入り、身づくろいが念入りになるのだ。見られることを意識して服を選び外見を整えているとき、こちらを見してくれるはずのその目が、社会の目だ。

服やアクセサリや髪型に周到的な目配りをし、意気揚々と家を出ていく若者にとって、盛り場にある社会の目は好ましいものとして想定されているといつてよい。自分の **B** を多少とも温かく受けいれてくれる目が盛り場にあると若者は信じ、だからこそ意気揚々たる気分ですこに出かけることができる。

が、社会の目は当人にとってつねに好ましいものであるとは限らない。最新流行のファッションに身を固めて都心の盛り場に向かう若者が、首都圏の一地方都市に住んでいるとして、盛り場に行く途中の、自宅から最寄りの駅までの住宅地域の目や、その駅から都心へと向かう車中の目は、かならずしも好ましいものとして想定されてはいない。若者が盛り場にいるときほどくつろげず、たとえば、住宅地域はやや緊張して足早に通り返、車中では空いた席にも坐らず、乗客に背を向けて戸口付近に突っ立っているとき、そのふるまいには、若者の感じとる社会の目の質のちがいがあらわれている。一口に社会の目といっても、流行のファッションに身を包む若者を温かく受けいれる目もあれば、同じ若者に恥ずかしい思いをさせたり、緊張感を強いたりする目もあるのだ。

好ましい目もあり、わずらわしい目もあるが、社会にあつてそういう目を意識しないではわたしたちは一日たりとも生きていくことができない。自分を見る目が、いやが上にも強く意識される場合もあれば、ほとんど意識にのぼらない場合もあるといったように、強弱には大きな差があるが、社会の目を意識することなしに思考や行動が展開していくことはありえない。人間は多くの人とともにこの現実を生きる社会的存在だが、その社会的存在の不可欠の要素として、社会の目を意識して生きていく、生きていかなければならない、という

C がある。

そして、社会の目を意識したとき、人はその目にたいしてなんらかの対応をせざるをえない。対応してもよし、しなくてもよし、というわけにはいかない。無視するという態度をとることはむろん可能だが、それ

は対応しないことではなく、あえて無視するという形で対応することだ。最新流行のファッションで身を固めた若者が、車中で乗客に背を向けて外の景色をながめやっていると、かれは車中の目を無視する態度に出ているといえるが、背を向けることでかれとまわりとの緊張感が消滅することではなく、かえって強まることも十分に考えられる。むしろ、若者はその緊張感のなかにいる。背を向けること、背を向けつづけることには、

D に耐えるだけの強い意志がこめられているのだ。

そんなふうに対応せざるをえないのは、もともと社会の目が対応をせまるようなものとしてやってくるからだ。

社会の目は、こちらとは無関係に、遠くにあつて静かにこちらをながめている、というものではない。わたしたちの意識に――わたしたちの体や心に――まといつくようなものとして、それはある。まといつきかたは、好意的なこともあれば、冷淡なこともあり、ときには悪意に満ちていることもあるが、こちらとまったく無関係の、どうでもよい中立のものとしてそこにあることはない。社会の目を意識することは、**E** とまわりの世界との関係のあり方を意識することであり、その関係のなかで自分のふるまいを方向づけようとすることだ。社会の目はわたしのふるまいをただながめるのではなく、わたしのふるまいに一定の評価をくだし、また一定の方向づけをあたえようとするような目であつて、その目を意識することは、その目との関係のもとで自分の **F** を組立てていくことなのだ。

都心の盛り場をめざす若者は、家で服装を整えているとき、盛り場の目を強く意識しているにちがいない。その目は、最新流行のファッションをその場にふさわしいものとして受けいれてくれる好意的な目だ。が、油断は禁物だ。服と靴がちぐはぐだったり、髪型が年齢不相応だったりしたら、からかいの目に出会うことになるかもしれない。また、なにかも流行に合わせるといふのは芸がなさすぎる。どこかに自分独自の個性を出さなくちゃ、と、そんな考えも浮かぶかもしれない。

その若者が家を出てすぐに、自分が小学生のころ学校のPTAで活躍していた友だちのお母さんとすれちがう。若者はまずいと思い、相手の顔を見ないで通り過ぎようとする。盛り場の目は遠のいて、近所の人びとの目が若者の **G** に大きく浮かびあがる。この目は盛り場の目ほどには最新流行のファッションに好意的ではない。だからつい足早にもなったのだが、考えてみれば、自分はなにも悪いことはしていないのだから、うしろめたく感じる必要はないはずだ。そう思いなおして歩く速度をもとにもどす。が、どこか落ちつかない気分が残って、それは容易に解消されない。

車内の目は近所の目ほど恥ずかしくはないが、盛り場の目ほど好意的ではない。好意的でないのに、なにやらものめずらしげにじろじろ見られるのは、うれしくない。座席に坐ると、前の人の視線を避けるのが面倒だ。戸口に立っていれば、背中に視線を感じはするが、それを避ける面倒だけはなくて済む。そんな思いで、若者は車中を立ったままで過ごす。

同じく都心の盛り場に向かう若者でも、別の地域に住む若者の場合、社会の目をちがったふうに意識し、

それへの対応もちがったものになることは十分考えられる。また、これまでの記述でわたしは男性の若者を念頭に思いうかべていたのだが、女性の若者となれば、社会の目の意識のしかたにも、それへの対応のしかたにも、

H

的なちがいが生じてくるかもしれない。

だが、どんな若者をとってみても、都心の盛り場でおのれの若さを実感できる充実したひとときを過ごそうと、外見に気を配って出かけていくとき、社会の目を意識しないということはないし、意識する以上はなんらかの形でそれに対応している。不特定多数の集団のなかに身を置いて生きるといふときの、それはもつとも基本的な意識のありようだ。人々のなかで生きるといふことは、まわりからやってくる **I** のまなざしを受けとめ、それに対応しつつ生きていくことだ。

（長谷川宏『高校生のための哲学入門』ちくま新書 二〇〇七年）

問 1

空欄

A

に入る最も適当なものはどれですか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

解答番号は

13

① 社会

② 個人

③ 意識

④ 目

⑤ 組織

問 2

空欄

B

に入る最も適当なものはどれですか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

解答番号は

14

① 気持ち

② 意識

③ 気分

④ 内面

⑤ 外見

問3

空欄

C

に入る最も適当なものはどれですか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

解答番号は

15

①

思考

②

行動

③

事実

④

理想

⑤

規則

問4

空欄

D

に入る最も適当なものはどれですか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

解答番号は

16

①

緊張感

②

現実

③

苦痛

④

妄想

⑤

行為

問5

空欄

E

に入る最も適当なものはどれですか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

解答番号は

17

①

他人

②

自分

③

現実

④

悪意

⑤

行為

問6

空欄

F

に入る最も適当なものはどれですか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

解答番号は

18

①

理想

②

思想

③

性格

④

心

⑤

ふるまい

問7

空欄

G

に入る最も適当なものはどれですか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

解答番号は

19

① ふるまい

② 個性

③ 意識

④ 思想

⑤ 態度

問8

空欄

H

に入る最も適当なものはどれですか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

解答番号は

20

① 量

② 質

③ 方法

④ 形式

⑤ 外見

問9

空欄

I

に入る最も適当なものはどれですか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

解答番号は

21

① 個人

② 訪問者

③ 若者

④ 集団

⑤ 知人

第3問 次の文章を読んで、後の問い（問1～9）に答えなさい。

幸せのシンボルである四つ葉のクローバー（シロツメクサの葉っぱ）は見つけるにはコツがある。じつは四つ葉のクローバーは踏まれやすいところに多い傾向にあるのだ。

四つ葉が生じる原因はいくつかあるが、そのうちのひとつは葉の基になる葉原基ようげんきと呼ばれる部分が傷つくことにある。踏まれると葉原基が傷ついて、三つ葉になるはずが四つ葉になってしまうのだ。

図鑑には、よくそう説明されている。

A、四つ葉のクローバーが踏まれやすいところに多いって、本当なんだろうか？

それが鳥海とりうみさんの研究テーマである。

鳥海さんは、心の病気で学校を休んでいた学生である。

そんな鳥海さんが、私の研究室に見学にやってきた。どうやら、私の研究室への分属（注）を考えているらしい。

私の研究室は広々とした農場にあるから、学生と話をするとき、あえて部屋の中で行う必要はない。学生と肩を並べながら、のんびり農場の中を歩いた方が、面と向かって話すよりも話しやすい。おそらく学生も同じだろう。

ひととおり、研究室の説明をした後、畑の土手に座って休んでいると、鳥海さんが何かを見つけたようだった。

「四つ葉のクローバーがあります」

「えっ、どこどこ？」

「ほら、あそこにあります」

鳥海さんの指さすところを見ても、全然わからない。

「えっ、見つからないけど、どこにある？」

そうこうしているうちに、鳥海さんが言った。

「あっ、あそこにもあります」

「えっ、どこにある？」

「あそこにもありました」

私が **B** しているうちに、鳥海さんは、いくつもの四つ葉のクローバーを見つけていった。

「鳥海さんは、幸せを見つけるのが得意だねえ」

四つ葉のクローバーは、幸せのシンボルとして知られている。

聞けば鳥海さんは、四つ葉のクローバーを見つけてるのが得意らしい。

何でも、たくさんある三つ葉の中で、四つ葉が光って見えるらしい。

^ア どうにも信じがたいが、事実、その後も鳥海さんは歩きながら次々と四つ葉のクローバーを見つけていっ

た。幸せに巡り合う名人というのは、本当にいるものなのだ。

鳥海さんが、どうして学校に來ない時期があったのか、そんなことは私には関係はない。ただ、私はいつも雑草の生き方に励まされる。そして、雑草の生き方を参考になっている。

だから、雑草の生き方を見ることは、きっと鳥海さんの力になるのではないかと何となく思った。

話を聞けば、鳥海さんはとても頑張り屋だ。

十分に頑張っているのに、「**C**……」と思っている。そして、思うように頑張れない自分が嫌いにな
ってしまうのだ。

私は言った。

「雑草ってさあ、頑張っているように見えるよね」

「はい」

「でも本当は、頑張ってなんかいないよ」

「えっ？」

鳥海さんが驚いた顔で私を見た。

「雑草は踏まれても踏まれても立ち上がるって、言うでしょ」

「はい」

「でも、見てごらん、踏まれている雑草は立ち上がっていないでしょ」

私は畑の道に生えている雑草を指さした。

「踏まれている雑草は踏まれても大丈夫のように、立ち上がらずに寝そべっている。別に立ち上がらな
くたっていいんだよ」

「雑草魂って言うわりには、何だか情けないですね」

鳥海さんが笑っている。

「雑草にとって大切なことは何だと思う」

「タネを残すことですか？」

「そうだよね。そうだとしたら、踏まれても踏まれても立ち上がるって、ムダなエネルギーを使っている
と思わない」

「確かにそうですね」

「だから雑草は踏まれたら立ち上がらない。そして、踏まれながらタネを残す方にエネルギーを使うんだ」

「そう考えると立ち上がらないってすごいですね」

「**D**、それが本当の雑草魂なんだ」

「……」

鳥海さんは黙っている。

「授業でやったよね。雑草のタネは環境が合わなければ芽を出さないって。無理して頑張らないのが雑草の

生き方なんだよ」

「私、『置かれた場所で咲きなさい』という言葉が好きだったんです。与えられたところで頑張ることが大事だと思っています。でもその言葉がずっと重荷だったんです。本当は、置かれた場所で芽を出さなくてもいいんですね」

渡辺和子さんの「置かれた場所で咲きなさい」は、私も大好きな言葉だ。しかし、受け手の心の状態によつては、この言葉に苦しむ人もいるのだ。言葉というのは、本当に難しい。

それにしても鳥海さんの「置かれた場所で芽を出さない」もすてきな言葉だ。

「そうだね、水辺の雑草が水のないところで頑張っても意味がないからね。水が溜まるのを待つのが正解だよね」

「雑草は頑張らない」

それが鳥海さんが気づいたことだ。

鳥海さんは四つ葉のクローバーを探すのが得意である。

その特技を活かして、広い農場のどこに四つ葉のクローバーが多いのか、くまなく調査をした。^エ

その結果、だろう。じつに興味深いデータを得ることができた。

初夏には茶畑の周辺で四つ葉が多くなり、冬になるとミカン畑で四つ葉が多くなることが明らかとなったのだ。

どうして、そんなことが起こったのだろう。

おそらくは、こうだ。

茶畑で4月の終わりから5月にかけて茶の収穫をする。そのため、たくさんの人が茶畑に入ったり、軽トラや機械が農道を通る。こうして踏まれることによって、その後の初夏に四つ葉が多くなるのだ。

ミカン畑も同じである。温州ミカンの収穫時期は冬である。そのため、冬の初めになると人がミカン畑に頻繁に入り、軽トラや運搬車も行き来する。こうして踏まれることで四つ葉が増えるのだ。

ミカン畑では、その後、四つ葉は減少するが、春先に剪定作業^{せんてい}が行われると、四つ葉が増加した。また、カキ畑でも剪定作業の後に四つ葉が増加した。

あまりにも鮮やかに、作業で踏みつけた後に四つ葉のクローバーが増加する傾向が得られた。「幸せの四つ葉のクローバーは踏まれて育つ」は本当だったのだ。

さらに鳥海さんは、温室の中で育てたシロツメクサに10キログラムの漬物石を乗せて踏み続けて、踏みつけることで四つ葉のクローバーの発生率が高まることを

E

にも証明した。

（稲垣栄洋『雑草学研究室の踏まれたら立ち上がらない面々』小学館 二〇二三年）

（注）分属 大学等において入学生が研究室ごとに分かれて所属すること

問1

空欄 A

に入る最も適当なものはどれですか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

解答番号は

22

① あと

② しかし

③ とにかく

④ なぜなら

⑤ むしろ

問2

空欄 B

に入る最も適当なものはどれですか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

解答番号は

23

① うろうろ

② そわそわ

③ とろとろ

④ まごまご

⑤ もじもじ

問3

傍線部ア「どうにも」の品詞はどれですか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

解答番号は

24

① 動詞

② 形容詞

③ 副詞

④ 連体詞

⑤ 助詞

問4

傍線部イ「私には関係はない」のはどうしてですか。

最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は

25

① わたしの研究室が広々とした農場にあるから

② 鳥海さんは研究室の見学にきたただだから

③ 鳥海さんの発言に疑わしい点があるから

④ わたしは雑草の生き方を参考に行っているから

⑤ 大学を休んでいたことと研究室の分属は別のことだから

問5

空欄

C

に入る最も適当なものはどれですか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

解答番号は

26

- ① もっと頑張らせてほしいのに
- ② もっと頑張らなきゃいけないのに
- ③ もっと頑張りたいのに
- ④ もっと頑張れたらいいのに
- ⑤ もっと頑張れるはずなのに

問6

傍線部ウ

「ムダなエネルギーを使っていると思わない」から推察できる著者の考えはどれですか。

最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は

27

- ① ムダなエネルギーはまったく使っていない
- ② ムダなエネルギーは多分使っていない
- ③ ムダなエネルギーを使っているかどうかよくわからない
- ④ ムダなエネルギーを使っているのかもしれない
- ⑤ ムダなエネルギーを使っている

問7

空欄

D

に入る最も適当なものはどれですか。次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

解答番号は

28

- ① 踏まれても立ち上がらない
- ② タネを残す
- ③ 置かれた場所で咲く
- ④ 大切なことを見失わない
- ⑤ 無理して頑張らない

問8

傍線部エ

「くまなく調査をした」とはどのような意味ですか。

最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は

29

- ① 広い農場をすべて調査した
- ② 広い農場の隙間だけを調査した
- ③ 広い農場を毎日調査した
- ④ 広い農場を朝から晩まで調査した
- ⑤ 広い上場を一人きりで調査した

問9

空欄

E

に入る最も適当なものはどれですか。を次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

解答番号は

30

① 一方的

② 奇跡的

③ 実験的

④ 全国的

⑤ 抽象的